

2012年3月15日

マーケットトピックス

本日のトピックス

・2012年一番売られている通貨・円

【2012年一番売られている通貨・円】

2012年、世界の株式市場は好調、各国株価指数はリーマンショック時の下落からの回復色を強めている。そのようなマーケット環境の中、為替市場において確認できる明確なトレンドは円の売り。

図1は、主要国の対ドルでの騰落率を示したグラフ。見てのとおり、円がもっとも弱い。

(図1: 主要通貨の対ドルでの年初来騰落率)

期間	年初来	国	スプレッド	主要通貨	基準通貨	USD
レンジ	12/30/11 - 03/15/12	ラシニング	スプレッドリターン			
通貨 (%)						
通貨別合計	16	1) メキシコペソ		MXN		9.54
		2) 南アフリカランド		ZAR		5.13
		3) ニュージーランドドル		NZD		4.21
		4) ブラジルレアル		BRL		3.46
		5) カナダドル		CAD		2.83
		6) 台湾ドル		TWD		2.56
		7) ノルウェークローネ		NOK		2.55
		8) オーストラリアドル		AUD		2.36
		9) 韓国ウォン		KRW		2.33
		10) シンガポールドル		SGD		2.24
		11) 英ポンド		GBP		0.82
		12) スイスフラン		CHF		0.78
		13) ユーロ		EUR		0.52
		14) スウェーデンクローナ		SEK		0.52
		15) デンマーククローネ		DKK		0.49
		16) 日本円		JPY		-8.09

(出所: ブルームバーグ)

図2は、ドル円の日足チャート。夏以降続いた70円台後半のレンジを上抜けたあと、上昇が続く。14日には83円台後半に乗せてきた。世界のマーケットがリスクに対して許容度を高めている中、これまで安全資産ということで逃げ込んでいた投機資金が円から急速に脱出を始めている。
 (図2:ドル円 日足)



(出所:ブルームバーグ)

円と同様の安全資産の代名詞である米国債。ここからも資金の流出の流れが明確になってきた。図3は、米国10年債利回り。こちらも長く続いたレンジを上抜けてきた。また14日には200日移動平均線も上に抜け、テクニカル的に上方に軽さを感じさせる展開へと変化。
 (図3:米国10年債利回り 日足)



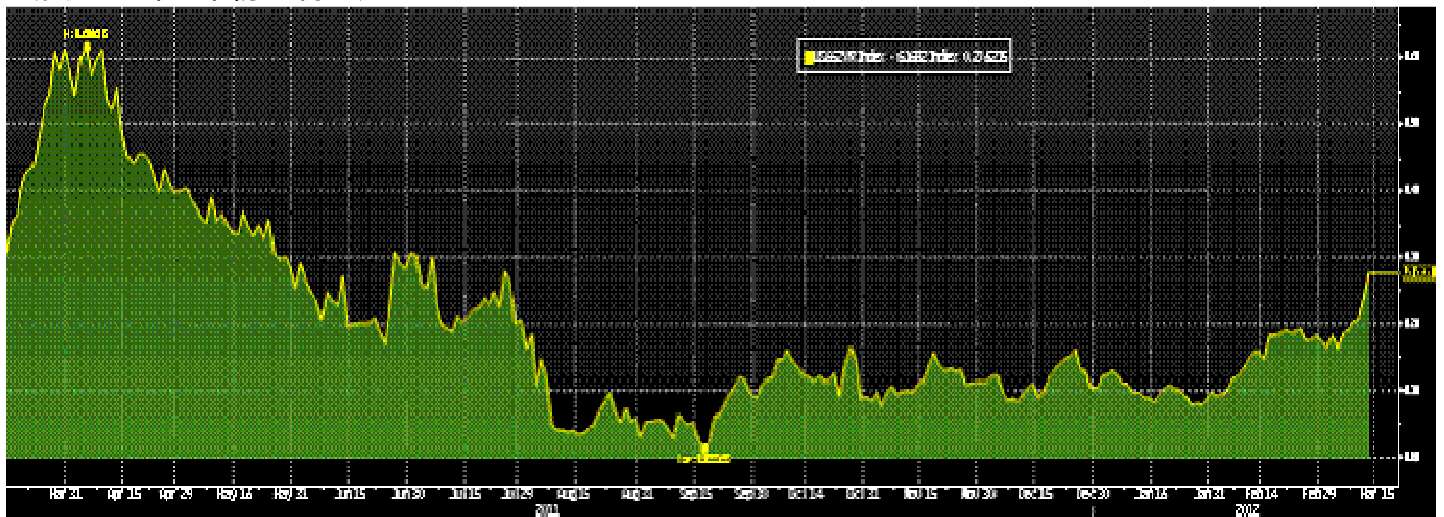
(出所:ブルームバーグ)

ドル円相場に強い影響を与えている米国2年債利回り。
 こちらも、長く続いたレンジを上を抜ける。
 (図4:米国2年債利回り 日足)



(出所:ブルームバーグ)

図5は、日米の2年債金利差チャート。
 こちらも上抜け。円安の後押し材料として意識される。
 ファンダメンタル的な面からも円安トレンドの根拠が明確化されてきた。
 (図5:日米2年物金利差)



(出所:ブルームバーグ)

図6は、ドル円の日足チャートと米国2年債利回りの推移。
非常に高い相関性が存在する。
(図6:ドル円／白・米2年債利回り／オレンジ)



(出所:ブルームバーグ)

提供:SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。